

# 鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問合わせ  
鶴岡市社会福祉協議会  
鶴岡市ボランティアセンター  
〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30  
Tel: 23-2970 Fax: 23-9110  
E-mail: shk-vol2@shk01.jp

## ボラセン登録団体紹介

### 100人いれば100通り。

私たちの願いは、知的障がいや発達障がいに理解のある人たちが地域にたくさん増えてくれることです。

#### 花笠ほーぷ隊 代表 古澤 薫さん



みなさんは、知的障がいとか発達障がいという人たちにどんな印象をもっていますか。可哀想な人、なにを考えているかわからない変な人、そんな風に思っている人が多いかもしれませんね。私たちがなにげなく暮らしているこの社会は、彼らのような障がいがある人にとってはなかなか暮らしにくい環境です。彼らも、みなさんと同じように自分の人生を普通に楽しく生きていきたいと思っています。

障がいのないあなたにも、なにか苦手なことってありませんか。そこを少しお手伝いしてもらったら助かりますよね。彼らの独特な感覚を疑似体験を通じてちょっとだけ感じてみませんか。

障がいのないあなたにも、なにか苦手なことってありませんか。そこを少しお手伝いしてもらったら助かりますよね。彼らの独特な感覚を疑似体験を通じてちょっとだけ感じてみませんか。

#### 花笠ほーぷ隊 副代表 長谷川 薫さん



私たちの行う疑似体験では障がいのある方の「〇〇だから、こんなことをする。」がわかるようになります。

でもこれは障がい者に限ったことではなく、赤ちゃんや認知症の高齢者まですべての人に共通すること。障がいを知ることは、みんなに優しい町づくりになります。

#### 疑似体験出前講座を行った団体等

警察学校、消防学校、市役所、社会福祉協議会、子ども会、人権擁護委員会、特別支援学校、中学校、高等学校、民生児童委員会、ボランティア団体、企業、福祉施設、地域の福祉まつり、他

#### (これまで開催した他県)

青森県、秋田県、宮城県、福島県、新潟県、埼玉県、愛知県

#### 疑似体験出前講座の申込み、問合せ先

知的・発達障がい理解啓発キャラバン **花笠ほーぷ隊**  
(庄内地方の方は) メール [preturuhopu@gmail.com](mailto:preturuhopu@gmail.com)  
☎ 023-623-6572 (山形県をつなぐ育成会)

## 花笠ほーぷ隊

知的・発達障害  
疑似体験

出前講座

#### ほんの一部ですが 参加した方々の声より

- ♥ 本当に素晴らしい研修会でした。花笠ほーぷ隊の皆様の明るく楽しい講演にあつという間でした。
- ♥ 目からウロコで最後は感動しました。
- ♥ 実際にどう感じるのか、どうもどかしいのか、どう接すればいいのか、とてもわかりやすく学べました。共生社会の考え方をしっかりと周りに伝えていきたい。
- ♥ 初めての体験型研修会で、自分の知らない障がいを体験できました。
- ♥ 子どもが不器用なことが気になっていました。今回の体験で、子どもが自分なりに苦労しながらやっていることを知りました。優しい気持ちで見守っていきます。



#### 私たちのマスコットキャラクター ほーぷちゃんの物語。

この絵はメンバーのお子さんで知的障がいを伴う自閉症の女の子が書いてくれました。

お母さんの絵を描いて、といたらこれを描いた！な～んて言っていますが…。

花笠ほーぷ隊の活動を始める時、内陸メンバー3人と庄内メンバー1人の4人でした。山形といえば、言わず知れた『花笠』、そして庄内と言えば『豚肉』ということで絵を描いてもらいました。

とても可愛いでしょ？



# ボランティアセンター登録2団体が受賞！～鶴岡市民憲章実行顕彰

7月30日、鶴岡市市民憲章推進協議会の表彰式が行われました。今年は8個人3団体が受賞し、ボランティアセンターに登録している次の2団体も受賞されました。




▲後列左から2人目くしビギン、3人目かだんこの会

## ◆ 檜引青年サークル 「くしビギン！」（檜引地域）

平成14年から、檜引地域の20～30歳代の若者が、魅力ある地域づくりに参画できるように人材育成を目的に活動している。特に子どもたちが対象の行事には企画から参画し地道なボランティア活動を実施している。

## ◆ 高校生ボランティアサークル かだんこの会（朝日地域）

昭和53年に発足以来、42年間、朝日地域の高校生をメンバーにして、福祉施設訪問、ジュニアキャンプ、子どもまつり、花植え、雪ランタンまつり等で地道にボランティア活動を実施している。



### 鶴岡市民憲章

出羽の山なみと日本海に抱かれ、歴史と文化を築いてきた、いのち輝くまち鶴岡。  
わたしたちは、このふるさとを愛し、力を合わせて、希望に満ちた未来をひらきます。

- ① 自然を尊び、環境をととのえ、美しいまちにしましょう。
- ② 心も体も健やかに、命はぐくむまちにしましょう。
- ③ 認め合い、助け合って、笑顔あふれるまちにしましょう。
- ④ 働くことを喜び、生き生きとした豊かなまちにしましょう。
- ⑤ 進んで学び、共に語り、創意あふれるまちにしましょう。

## エコキャップ収集について！

今年度からの変更内容等

今までエコキャップを受け入れていた市内の団体が4月から諸般の事情で受け入れを終了したことを受けて次のように対応いたします。

- ◆ 受付日 毎月第1水曜日 15時まで  
※祝日の場合は第2水曜日
- ◆ 受付場所 ボランティアセンター
- ◆ 送付先 宮城県内の企業  
※障がい者施設と連携してワクチンを送る活動を実施

**令和3年1月からは、エコキャップ収集を終了し、プルタブ収集を中心に行う予定です！**

《市内の団体が回収をしてくれます》

### 令和元年度の回収報告

エコキャップ(約2円/kg)	プルタブ(約70円/kg)
1140.9 kg (2,282 円)	168.2 kg (11,774 円)
合計金額 14,056円	
発展途上国へ送れたワクチン 約703人分	

## 豪雨災害の被災者のために！

鶴岡の人たちの温かい想いに感謝

### ◆ 熊本県の被災地へフェイスタオルを送付！

7月10日～17日まで、掃除用のタオル提供を呼びかけたところ、2,183枚と送付のためにとの寄付金23,000円のご協力がありました。協力を依頼された庄内地方のボランティア団体を通じて、被災地で支援活動を行う支援団体に送付していただきました。



### ◆ 山形県内被災地へのボラバス運行！

このたびの被災地では、近隣市町村の人たち等が素早く対応をしてくれており、災害ボラセンでは広くボランティア募集は行っていないところが多くありました。

各被災地の状況を確認した時に、平日のボランティアが不足している町があったので、急ぎよ鶴岡市からボランティアバスを運行することにして、NPO法人鶴岡災害ボランティアネットワーク、東北公益文科大学等に呼びかけて、8月5日(水)7名が大江町で活動を行いました。



**「ちょボラ場」  
開催予定**

8月は、19日(水)、26日(水)

9月は、2日(水)、30日(水)

新型コロナウイルス感染症予防のため、検温、マスク着用を徹底。また、熱中症予防のため飲み物を持参下さい！

《らくがき》 朝の検温、マスク、消毒が当たり前の日々。コロナとの闘いに終わりはみえない。こんな中でも災害は容赦ない。片付けに追われている皆様、休憩と水分を摂り、熱中症対策をしっかりとされて活動して下さい(\*ω\*)(I)